

# 第 150 回

## 中小企業景況調査報告書(概要版)

平成 28 年 10 月～12 月実施

平成 29 年 1 月～3 月予測

福岡県商工会連合会

この調査は、中小企業の景気動向について、その実態と要因を四半期ごとに分析し、業種間の比較によって差異分析を行い、その分析結果に基づき、今後の経営活動の健全な発展を図るために業種別の景況情報を提供する。

1. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接聞き取り調査
2. 調査時点 平成 28 年 12 月 1 日 (木)
3. 調査対象時期 平成 28 年 10 月～12 月
4. 調査対象企業 久山町・太宰府市・宗像市・大刀洗町・八女市・大木町・遠賀町・築上町・小竹市・添田町の 150 企業
5. 回答企業 150 企業 (有効回答率 100%)

| 製造業 |       | 建設業 |       | 小売業 |       | サービス業 |       |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|
| 企業数 | 構成比   | 企業数 | 構成比   | 企業数 | 構成比   | 企業数   | 構成比   |
| 29  | 19.3% | 22  | 14.7% | 44  | 29.3% | 55    | 37.5% |

### ☑ 県下産業全体 (業況・売上額 D.I)

➡ **まだまだ厳しい状況であるが、製造業を除き全体的に回復の兆しも見える福岡県の中小企業景況**

| 期間                   | 製造業 |       | 建設業 |       | 小売業 |       | サービス業 |       |
|----------------------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|
| 平成 27 年<br>10 月～12 月 |     | △28.6 |     | △22.8 |     | △14.0 |       | △10.7 |
| 平成 28 年<br>1 月～3 月   |     | △10.8 |     | △27.2 |     | △7.3  |       | △16.1 |
| 平成 28 年<br>4 月～6 月   |     | △20.7 |     | △0.0  |     | △9.1  |       | △20.0 |
| 平成 28 年<br>7 月～9 月   |     | △13.8 |     | 31.9  |     | △25.0 |       | △20.0 |
| 平成 28 年<br>10 月～12 月 |     | △34.5 |     | 18.2  |     | △50.0 |       | △11.1 |

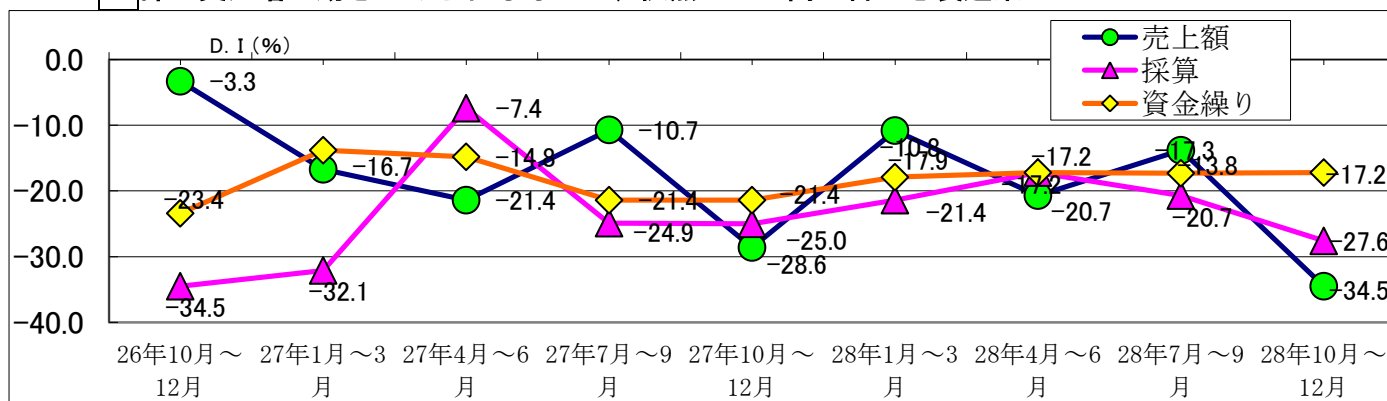
<天気図の見方>

| D. I 値 | 100.0～30.1          | 30.0～10.1              | 10.0～△10               | △10.1～△30               | △30.1～△100            |
|--------|---------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 表示     | 【快晴】<br>+30.1<br>以上 | 【晴れ】<br>+10.1<br>～30.0 | 【曇り】<br>△10.0<br>～10.0 | 【曇り】<br>△30.0<br>～△10.0 | 【雨】<br>△30.1<br>～△100 |

県下産業全体の売上額 D. I を前年同期(平成 27 年 10 月～12 月)の D. I 値と比較すると売上額(建設業は完成工事額)は 5.9 ポイントの改善、採算は 0.2 ポイントの改善、資金繰りは 4.4 ポイントの改善となり、全ての D. I 値が改善している。また、前回調査時(平成 28 年 7 月～9 月)の D. I 値と比較すると売上額は 10.1 ポイントの悪化、採算は 4.2 ポイントの悪化、資金繰りは 4.7 ポイントの改善となっている。

**製造業** (有効回答数 29 企業)

一部に受注増の動きがみられるものの、依然コスト高に苦しむ製造業



<調査企業が感じている景気判断コメント>

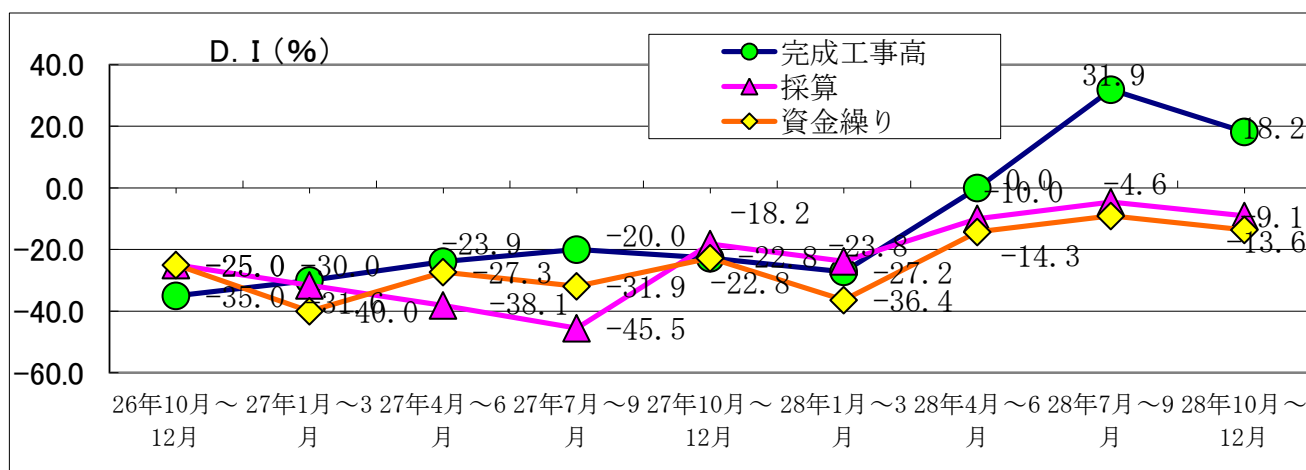
- ・天候不順の野菜等の高騰で、加工品の売上が厳しいと予想される。(食品製造業)
- ・大型店が良い品でなく低価格商品品揃えを充実させており技術職人の商品を必要とする人が減少している。(鉄工業)
- ・今年の夏は猛暑が続いた後、8月下旬から台風が相次いで発生し日本全土で被害が出た。その後も毎週末に雨に祟られ、釣りの最潮期である秋が全く盛り上がらなかった。天候に左右されない強い商品づくりが重要である。(釣具製造)

<経営上の問題点>

| 前期  |                  | 今期  |                          |
|-----|------------------|-----|--------------------------|
| 第1位 | 需要の停滞 25.0%      | 第1位 | 製品(加工)単価の低下 18.5%(+11.4) |
| 第2位 | 生産整備不足・老朽化 17.9% | 第2位 | 需要の停滞 14.8%(-10.2)       |
| 第3位 | 従業員の確保 17.9%     | 第3位 | 製品ニーズの変化 14.8%(+7.7)     |

**建設業** (有効回答数 22 企業)

年度末の受注はあるものの、資材価格高の影響で収益が悪化した建設業



<調査企業が感じている景気判断コメント>

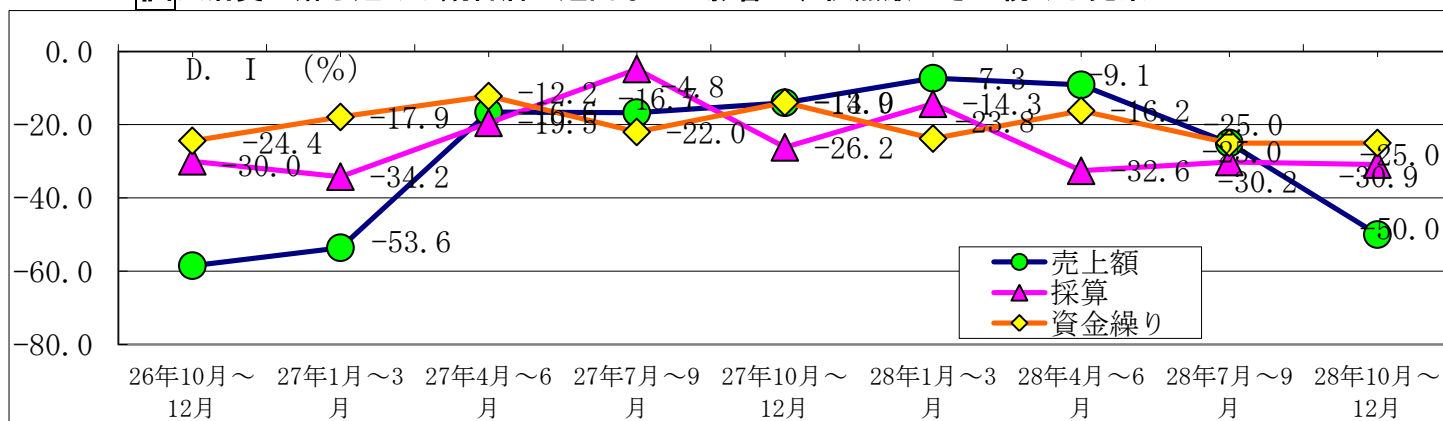
- ・住宅ローンの金利も随分下がっている割には、新築改築等の需要が少ない。(建築業)
- ・工事の発注は増えないままで、業況は変わらず良くないままである。資金繰りが悪化しており、機械の修繕など急な出費への対応が困難となっている。(内装工事業)
- ・受注減で厳しい状況だが、来期の受注見込み、見積もり依頼の増加により明るい兆しも見えている。(土木業)

<経営上の問題点>

| 前期  |               | 今期  |                         |
|-----|---------------|-----|-------------------------|
| 第1位 | 材料価格の高騰 21.1% | 第1位 | 民間需要の停滞 21.1%(+19.6)    |
| 第2位 | 官公需要の停滞 15.8% | 第2位 | 材料価格の上昇 21.1%( - )      |
| 第3位 | 民間需要の停滞 10.5% | 第3位 | 請負単価の低下、上昇難 10.5%(+5.2) |

## ☑ 小売業 (有効回答数 44 企業)

➡ **個人消費の落ち込みや競合店の進出などの影響で、依然厳しさが続く小売業**



### <調査企業が感じている景気判断コメント>

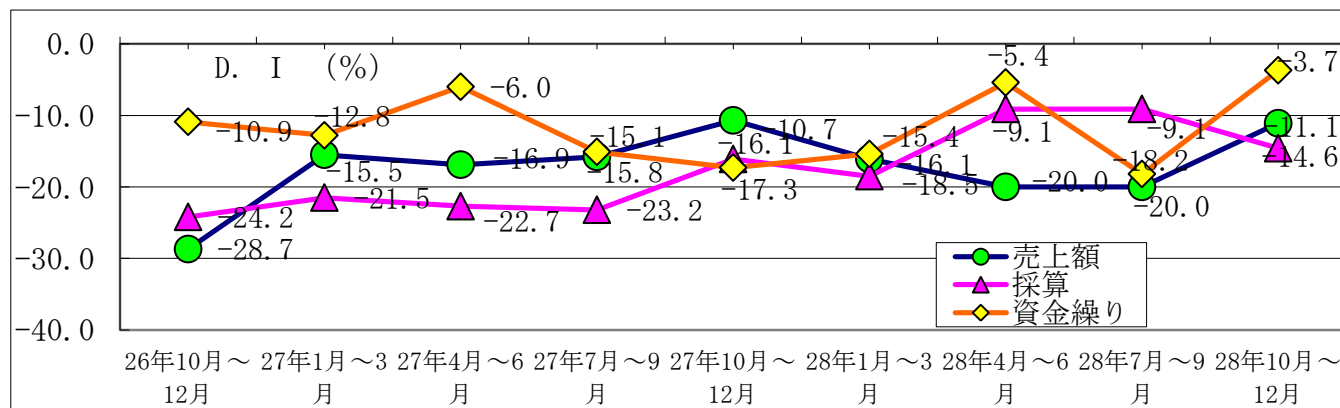
- ・安売り店の進出に伴う売上げの減少、および消費者ニーズの多様化。(時計小売業)
- ・50年過ぎたら、FPR または、タンク入れ替えをしなければならない法律があるが、当事業者では30年後入れ替えなので、資金調達が不安。(石油小売業)
- ・着物を自分で着装できない世代が大半となり、業界全体で考えて改善する必要がある。(呉服小売業)

### <経営上の問題点>

| 前期  |                         | 今期  |                                |
|-----|-------------------------|-----|--------------------------------|
| 第1位 | 大型店・中型店進出による競争の激化 29.3% | 第1位 | 大型店・中型店進出による競争の激化 23.3% (+6.0) |
| 第2位 | 消費者ニーズの変化 12.2%         | 第2位 | 消費者ニーズの変化 23.3% (+11.1)        |
| 第3位 | 需要の停滞 12.2%             | 第3位 | 販売単価の低下、上昇難 14.0% (+6.7)       |

## ☑ サービス業 (有効回答数 55 企業)

➡ **一部業種で改善の動きがみられるサービス業**



### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・一定の利用者数は確保できているが、ご利用者の体調や家庭の環境等の悪化が多いので、来期の安定については先の見通しが立たない。(デイサービス業)
- ・従業員の高齢化が進みつつあり、若いスタッフの確保が必要です。雇用時間や体制の見直しが求められる。働く従業員の意欲の向上を図り、お客様へのサービスへと繋がる営業体制を意識しております。(飲食店)
- ・顧客を確保することを日々努力しているが、人口減少や少子高齢化による顧客減少が危惧される。(美容業)

### <経営上の問題点>

| 前期  |                 | 今期  |                        |
|-----|-----------------|-----|------------------------|
| 第1位 | 利用者ニーズの変化 27.7% | 第1位 | 利用者ニーズの変化 28.9% (+1.2) |
| 第2位 | 新規参入業者の参入 12.8% | 第2位 | 需要の停滞 13.3% (+2.7)     |
| 第3位 | 従業員の確保難 12.8%   | 第3位 | 従業員の確保難 13.3% (+0.5)   |